

各パーツの取り付け方

正しく取り付けられていないと、
もれの原因となります。

お手入れなどで、中せんセットを分解したり、中せんパッキンや下げひもを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取り付けます。

中せんセットの分解及びセット

分解

- ①中せんレバーを上げる。
- ②中せんふた部の●印を、中せん本体部の▲印のところまで「はずす」方向へまわす。

セット

- ①中せんレバーを下げる。
- ②中せんふた部の●印を、中せん本体部の▲印に合わせて組み込み、ふた部の●印が本体部の●印に合うまで、「しめる」方向へしっかりまわしてください。



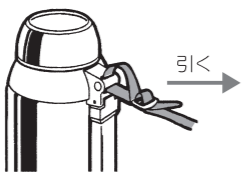
中せんパッキンの取り付け方

中せんパッキンは方向をまちがえないよう、正しくセットしてお使いください。
※逆にセットした場合飲みものがもれたり、保温性能が低下する原因となります。



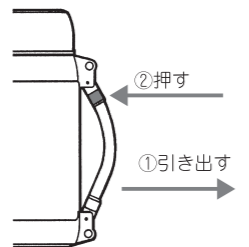
下げひもの取り付け方

- ①図の肩の部分の穴に下げひもを通す。
 - ②おくりにもひもを通して矢印の方向へ引きおろす。
- ※取りはずしは、取り付けの逆手順でおこなう。



ハンドルの使い方

- ①ハンドルを引き出すときは、ハンドル図の部分を持って手前に引く。
 - ②収納するときは、必ず矢印の箇所を押す。
- ※指定以外の箇所を押すと、ハンドルが破損する原因となります。



赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10g 加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、水以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■中せんからもれる	中せんパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	中せんがしっかりとしまっていますか。	しっかりとしめなおしてください。
	中せんパッキンが汚れていますか。	「お手入れの方法」を参考にしお手入れをしてください
■湯(本体内側・せん)がにおう	飲みものを入れすぎていませんか。	少量の飲みものを減らしてください。
	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、中せんセットや中せんパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものをに入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲みものを正しい量まで入れてください。

※コップ・中せん・中せんパッキンは消耗品です。
使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ……トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
ART・AXT型 コップセット(外コップ・内コップ)
ART・AXT型 中せんセット(ふた部・本体部・中せんパッキン)
ART・AXT型 中せんパッキン
ART・AXT型 下げひもセット(下げひも・おくり)

※各消耗品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鶯洲5丁目12番20号

21034C

Peacock

ステンレスボトル コップタイプ

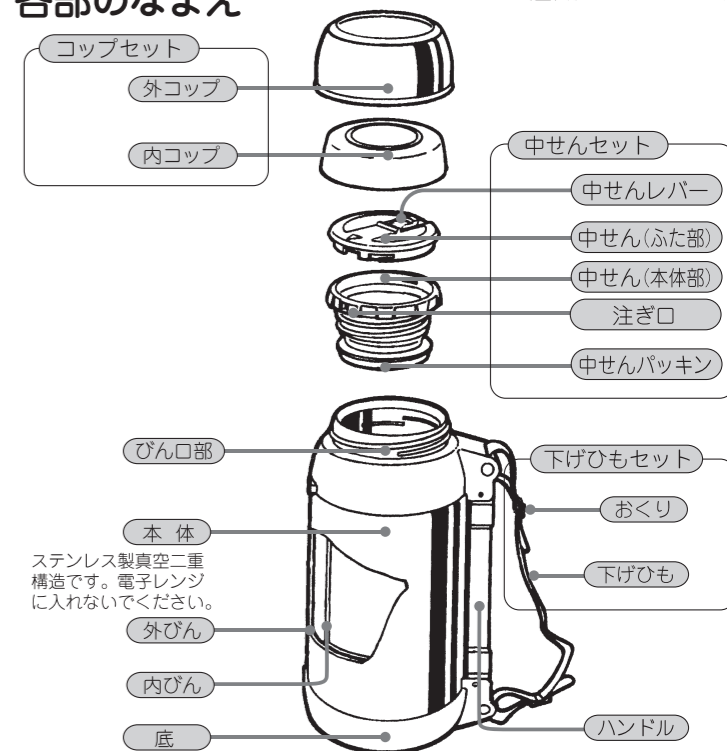
ART・AXT

取扱説明書

このたびは、ピーコックステンレスボトルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ

イラスト(図)はAXTのもので



説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。④

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲料物の保温・保冷以外に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。



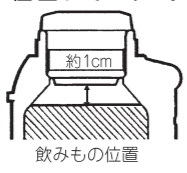
やけど・けがなど危険。

熱い飲みものを入れた場合は、直接飲まないで必ずコップを使用する。



やけどのおそれ。

飲みものの量は、図の位置までにする。



飲みもの位置
入れすぎると、もれ・あふれ・やけどのおそれ。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。



変形・変色の原因。

熱いやかんをびん口部に触れさせない。



転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

中せんのレバー方向での注湯(注水)はしない。



お湯が飛び散り、やけどや他のものを汚す原因。

●製品の横置きは避ける。もれるおそれ。

●注湯(注水)操作後、製品を横置きした場合、また冷水を長時間保冷した場合に、中せんの注ぎ口から残留水滴や結露水がもれることがあり、他のものを汚す原因となるので注意する。この場合は、中せんレバーを倒した状態で、注ぎ口を下にして本体を軽く上下に振って水滴を出す。

●ご使用中、コップの裏側や中せん、びん口部に濡れたような水滴がつく場合がありますが、この症状は水もれではありません。水蒸気が凝結して水滴となる結露現象です。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。

●倒したり、落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものもれの原因。

●熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時は、ティーバッグなどを使用する。お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。

●熱い飲みものを入れ長時間放置すると、内部が減圧され、中せんレバーがあげにくくなったり、あけるときの、音がする場合がある。

●熱い飲みものを入れて使用するときには、ゆっくり傾けながら飲みものを注ぐ。急に傾けると飲み物が勢いよく出て、やけどなどのおそれ。

●熱いものを入れた直後、本体を振らない。内圧が急に上がり中せんレバーがあげにくくなったり、あける時、音がする場合があります。

●大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。傷・もれ・変形など故障の原因。

●中せんセットは確実にしめて使用する。もれ・やけどなどのおそれ。

●中せんパッキンは必ずつけた状態で使用する。もれ・やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。

●中せん・コップを持って運ばない。

●傾けた状態や顔の近くで中せんレバーをあけない。熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

●パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

●自動車運転中は使用しない。やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

●改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。●冷凍庫に入れない。もれなど故障の原因。

●電子レンジでの加熱はしない。火花が飛び危険。変形や変色の原因。

●下げひもを首から下げたまま遊んだり、周囲のものに引っ掛けたり、乱暴な取り扱いには絶対にしない。故障や事故の原因。

絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、中せんレバーがあかなかったり、湯(水)が吹き出たり、部品が破損して、けがのおそれ。

●みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの

サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。

●牛乳・乳飲料・果汁など

腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みもの吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。

●果肉・お茶の葉など もれなど故障の原因。



ドライアイス みそ汁

●飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。

外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

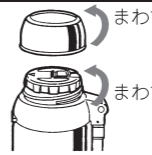
●飲みものを入れた状態で長く放置しない。腐敗・変質の原因。

ご使用方法

ご使用前にコップ・内びん・中せんセットを洗ってからご使用ください。

1 コップ、中せんセットをはずす

①コップと中せんセットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 熱い(冷たい)飲みものを入れる

①直接、内びん内に湯(冷水)が落ちるように入れる。
②熱いやかんをびん口部に触れさせない。



湯(水)位置

湯(水)を入れすぎで中せんをしめると、湯(水)が吹き出したり後からもれ出すことがあります。湯(水)を入れすぎた場合は、少量の湯(水)を捨ててから、元どおり中せんをしめてください。

※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
※飲み物の量は図の位置までにする。

3 中せんセットをしめる

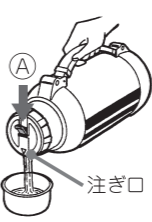
①中せんは最後までゆっくり確実にしめる。
②中せんをしめた後は、必ず中せんレバーが下がっているかを確認する。

4 湯(冷水)を注ぐ

①中せんレバー(A)部を指で押し下げ、製品本体を持って注ぎ口方向へ傾け注ぐ。

※傾けたまま、中せんレバーを絶対に指で押し下げないでください。湯があふれ出る場合があります。

※中せんレバーの操作が堅くて押せないときは、無理やり下げないで一度中せんをゆるめて、レバーを指で押し下げ、そのまましめなおしてください。



注ぎ口

5 注ぎ終わったら

①必ず製品を立てた状態で2~3秒してから中せんレバー(B)部を指で押し下げる。

※注ぎ終わったら必ず、中せんレバー(B)部を指で押し下げてください。中せんレバーがそのままだと、万一製品が倒れた場合に湯(水)が出たり、保温(保冷)効果が悪くなります。



(B) 押す(とじる)

②コップは最後までゆっくり確実にしめる。

お手入れの方法

◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
◆においを防ぐため、こまめにお手入れする。

本体外側

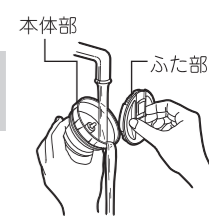
本体、せんユニットをぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。

本体内側・コップ

柄のついたスポンジブラシなどできれいに内面を洗い、十分に乾燥させる。

中せんセット

中せんセットはふた部と本体部に分解できます。「中せんセットの分解及びセット」をごらんください。



本体部

ふた部

本体部からふた部をはずし、汚れたところをぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。

中せんパッキン

パッキンを中せんから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。その後、「各パーツの取りつけ方」を参考にして、中せんに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなど付着していると、水もれの原因)

下げひも

湯をやわらかい布に含ませ固くしぼり、汚れをふきとる。その後日陰で干す。※丸洗いはしない。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、中せんセットを取りつけない。本体の内圧が上がり、中せんセットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 本体・中せんセット・コップセットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体の丸洗いはしない。 ●下げひもの丸洗いはしない。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。